



スクリーン印刷用資材  
18.05.16 改訂  
(97.11.04)

## 蓄光顔料

蓄光顔料は蛍光灯、白熱灯、水銀灯、太陽光などの光エネルギーを吸収して一時的に蓄え、徐々に放出して暗所では発光して見えます。タイプによっては発光色、残光輝度、発光時間、耐光性などが異なりますので用途に合わせて選定して下さい。

種 類	蓄光顔料	蓄光顔料イエローL	N夜光顔料グリーン
体 色		淡黄色	淡黄緑色
発 光 色		黄緑色	黄緑色
特 長		<ul style="list-style-type: none"> <li>汎用タイプ</li> <li>初期輝度は高いが残光時間が短い</li> <li>屋外用途は使用禁止</li> <li>安価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>励起時間が長く、残光時間と輝度が汎用品の約10倍</li> <li>耐光性に優れ、屋外使用も可能</li> <li>高価</li> </ul>
用 途		夜光標識、玩具、アクセサリ、雑貨など	安全防災用品、避難誘導など
備 考	放射性物質および有害性重金属 非含有		

- 使用 方法
- 蓄光顔料イエローLは顔料と無色インキを重量比2：1で混合し、N夜光顔料グリーンは重量比1：1で混合して十分に攪拌して下さい。
  - 塗膜の厚さは乾燥膜厚200～300 $\mu$ が理想的です。スクリーンメッシュは#80～120の粗いものを使用し、インキは硬いものを、スクージは柔らかいタイプを使用するなど、できるだけ厚盛りになるように調整して下さい。
  - インキマイレージはT#100使用時で約15m<sup>2</sup>/kgです。
  - 下地に白印刷を行ってから蓄光インキを重ねたほうがより発光します。
  - 蓄光顔料は溶剤型インキ、水性インキ、UVインキいずれも配合できますが、顔料の比重が大きいため沈降分離が発生します。必要量だけを混合して使い切るようにして下さい。

容 量 200gおよび1kg

- 注 意 事 項
- インキは金属との接触を避け、保管はプラスチック容器をご使用下さい。
  - 汎用タイプの蓄光イエローLは耐光性がありませんので、屋外用途には使用しないで下さい。
  - 照射する光源は短波長が有利です。ブラックライト、水銀灯などのほうが短時間で励起します。
  - ここに記載された事項はすべて弊社の試験に基づいたものですが、素材及び使用条件によって相違する場合があります。事前にご確認の上、ご使用いただきますようお願い致します。
  - このカタログの内容は商品の改良の為、予告なく改訂する場合がありますのでご了承下さい。
  - MSDSを準備しておりますのでご請求下さい。製品を取り扱う前に内容をご理解の上、ご使用下さい。